

ゲンティン・シンガポール (GENS)

VIP 向けのカジノ市場が好調、RWS の再開発投資への注力および日本(大阪)の IR 新規参入に向けて本腰シンガポール | カジノ・ゲーミング | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG GENS:SP | REUTERS GENS.SI

- 2019/12 期 2Q (4-6 月) は、売上高が前年同期比 13.6%増の 6.36 億 SGD、調整後 EBITDA が同 10.7%増の 2.94 億 USD。「ローリングチップ」の高い運営者側勝ち率により VIP 向け市場の業績が伸びた。
- 非カジノ市場の売上高が同 1.1%減だったが、カジノ市場の売上高は VIP 向け市場が同 62.8%増と伸びたことから同 21.7%増と好調。
- RWS の再開発に約 45 億 SGD を投資し、2020 年から新たなアトラクションを設置する計画。USJ と夢洲を有する大阪への IR 新規参入ではユニバーサルスタジオを擁する RWS のノウハウが強みとなる。

What is the news?

8/2 発表の 2019/12 期 2Q (4-6 月) は、売上高が前年同期比 13.6%増の 6.36 億 SGD、営業利益が同 4.8%減の 2.17 億 SGD、純利益が同 5.2%減の 1.68 億 SGD、調整後 EBITDA が同 10.7%増の 2.94 億 SGD。カジノ (Gaming) 事業において 4,730 万 USD の貸倒損失を計上したことが響いて営業利益および純利益が減益となったが、統合リゾート (IR) のリゾート・ワールド・セントーサ (RWS) における「ローリングチップ」(VIP 向けの賭けから得られる金額で、換金不可の使い切りが約束されるもの) の高い運営者側勝ち率 (win percentage) によって VIP 向け市場が伸びたことが奏功し、増収および調整後 EBITDA 増益となった。

セグメント別の業績は以下の通り。カジノ事業の売上高が同 21.7%増の 4.41 億 SGD、ホテルやレジャー施設などの非カジノ事業の売上高が同 1.1%減の 1.95 億 SGD。顧客市場別の売上高では、マス市場が同 1.3%増の 3.41 億 SGD と伸び悩んだが、ローリングチップの販売量増加 (同 14.4%増) により VIP 向け市場が同 62.8%増の 3.21 億 SGD と拡大した。

How do we view this?

同社は RWS の再開発投資に約 45 億 SGD を投入し、2020 年から新アトラクションを設置する計画である。その計画の目玉として RWS 内の「ユニバーサルスタジオ・シンガポール」に「ミニオン・パーク」と任天堂 (7974) の「スーパーマリオ・ワールド」が追加され、更に 2024 年までに 1,100 室のホテル客室が追加される予定である。5/22 に日本の IR に関して大阪府・市が募集を始めた夢洲 IR のコンセプト案への参加登録を終えて正式に受理された。国土交通省は 2019/11-12 にも基本方針案を公表後、最終基本方針を 2020/2 頃に公表する見通しである。大阪での IR が決定した場合、2020 年に USJ 内に「スーパー任天堂ワールド」が開業予定であり、夢洲 IR との組み合わせは同様のテーマパークを IR の重要コンテンツとする RWS と類似する。同社が参入すれば RWS でのノウハウを発揮できるものとして歓迎されよう。2019/12 通期の市場予想は、売上高が前期比 0.5%減の 25.27 億 SGD、当期利益が同 6.6%減の 7.05 億 SGD。

業績推移

※参考レート 1SGD=76.70円

事業年度	2016/12	2017/12	2018/12	2019/12F	2020/12F
売上高(百万SGD)	2,228	2,392	2,539	2,527	2,527
純利益(百万SGD)	384	685	755	705	700
EPS(SGD)	0.02	0.05	0.06	0.06	0.06
PER(倍)	44.75	17.90	14.92	15.43	15.70
BPS(SGD)	0.60	0.62	0.64	0.67	0.69
PBR(倍)	1.49	1.44	1.40	1.34	1.30
配当(SGD)	0.03	0.04	0.04	0.04	0.04
配当利回り(%)	3.35	4.47	4.47	4.47	4.47

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想 (SGD) **0.04** (予想はBloomberg)
終値 (SGD) **0.895** 2019/8/20

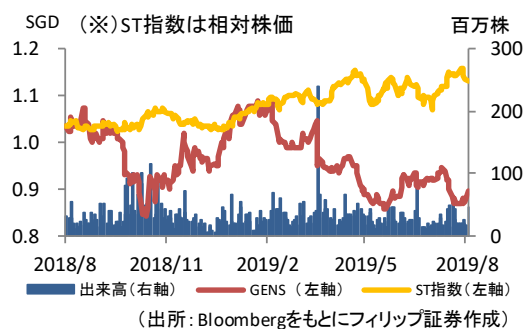
会社概要

1984年にマン島で設立後、1987年に株式公開会社に転換され、2005年にシンガポール取引所に上場。2018/6にマン島からシンガポールに住所を移転した。30年以上にわたり、オーストラリア、バハマ、マレーシア、フィリピン、シンガポール、英国で、カジノ(ゲーム)および統合リゾート(IR)の開発を手掛けてきた。同社とその子会社は約12,500人を直接雇用しており、チームメンバーの70%以上がシンガポール人とシンガポール永住者だが、40を超える国籍の従業員が在籍している。

2010年にシンガポールの一大観光地セントーサ島にファミリー向けトピカルリゾートとして開発された「リゾート・ワールド・セントーサ」は、ユニバーサル・スタジオをはじめとする世界屈指のエンターテインメント施設であり、東南アジアで最大クラスの統合リゾートである。シンガポール初となるカジノ、6つのホテル、水族館、博物館といった様々なリゾート要素が一堂に集まる。

企業データ (2019/8/21)

ベータ値	1.19
時価総額(百万SGD)	10,731
企業価値=EV(百万SGD)	7,358
3か月平均売買代金(百万SGD)	24.1



主要株主 (2019/8)

1.ゲンティン	52.70
2.VANGUARD GROUP	1.42
3.ブラックロック	1.39

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

笹木 和弘
kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp
+81 3 3666 6980

増淵 透吾
togo.masubuchi@phillip.co.jp
+81 3 3666 0707

ゲンティン・シンガポール(GENS)

2019年8月21日

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: フィリップ証券 リサーチ部

公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員補 増淵透吾

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>